

ノリ養殖環境速報 KH-29-7 (播磨灘) 平成30年1月9日 発行

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

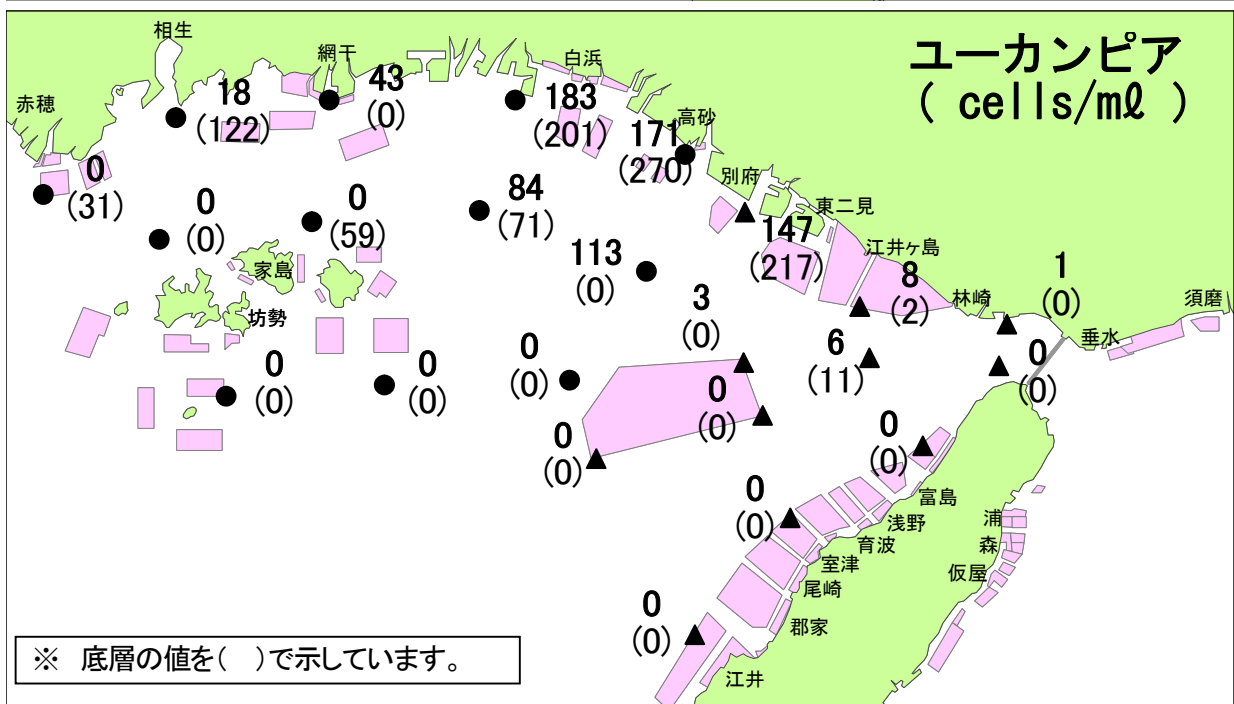
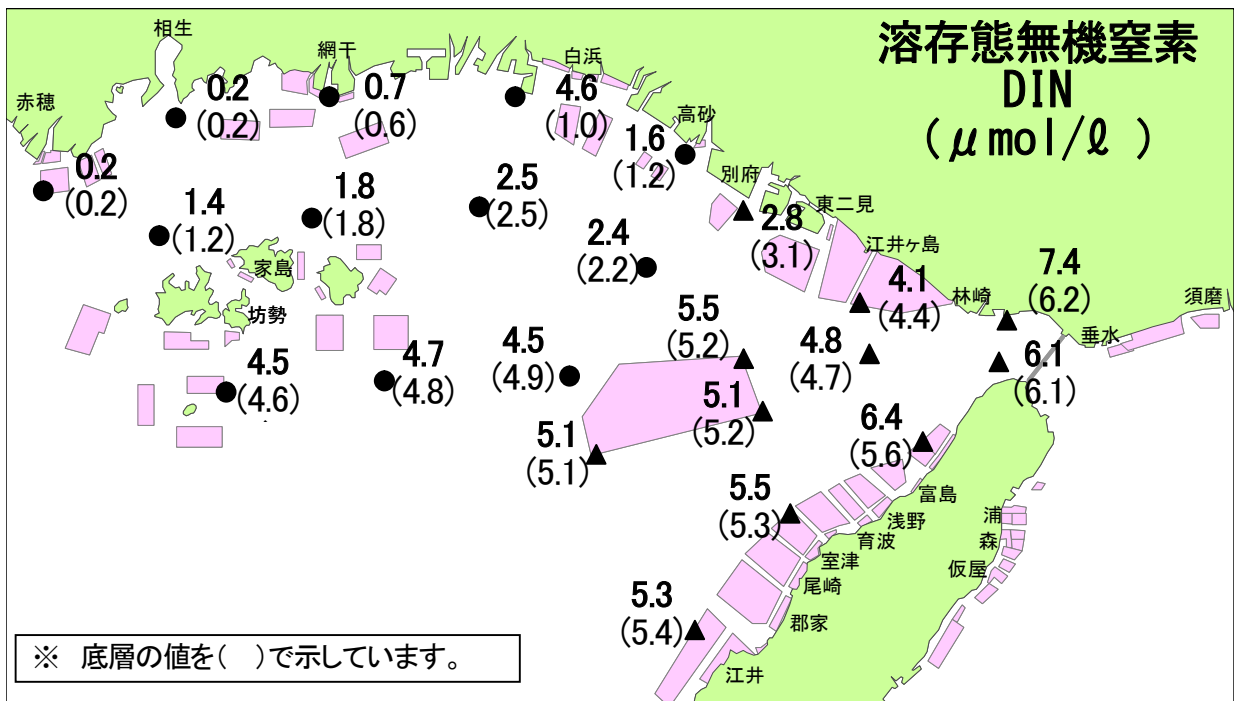
調査年月日：1月4日

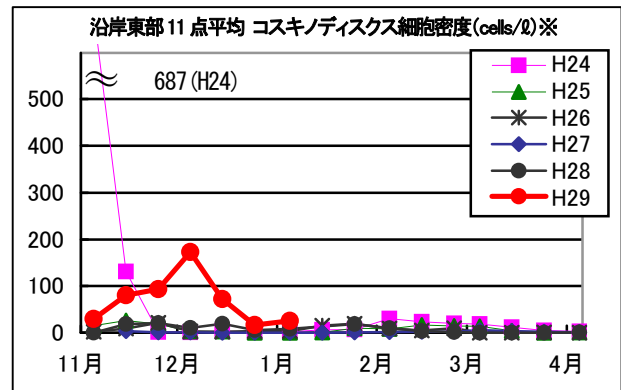
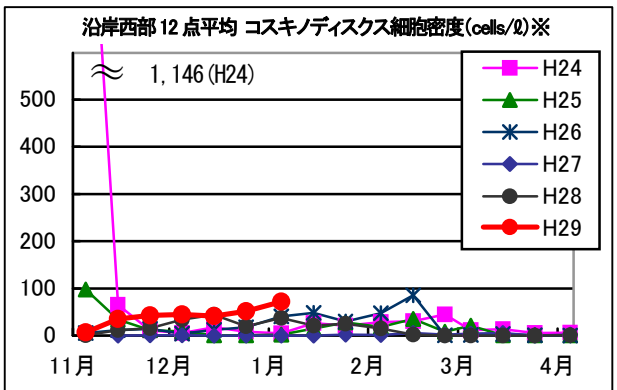
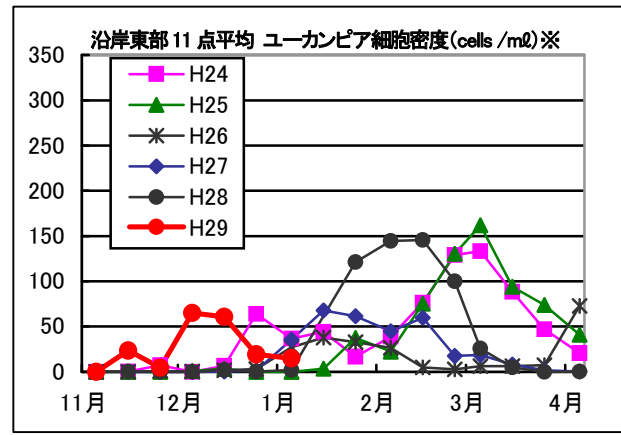
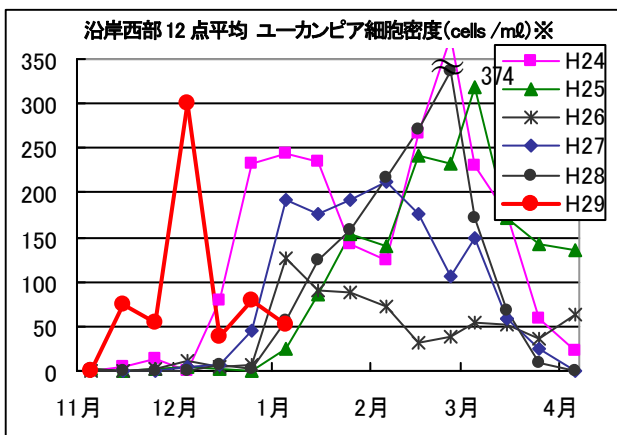
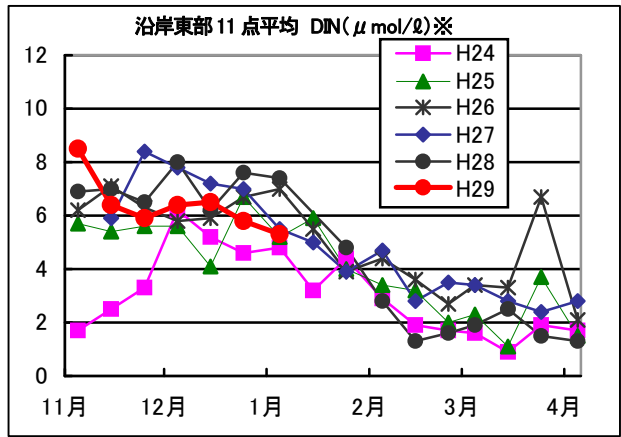
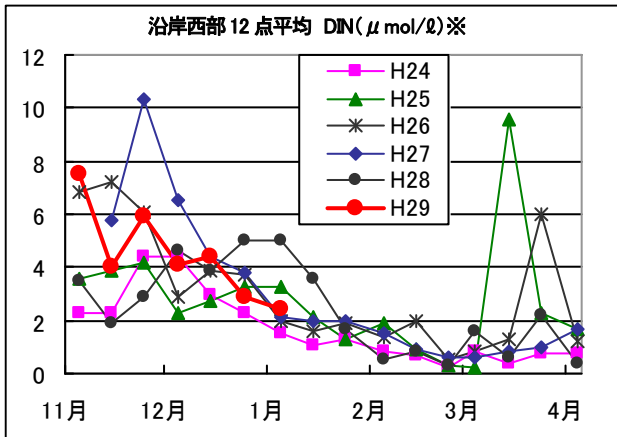
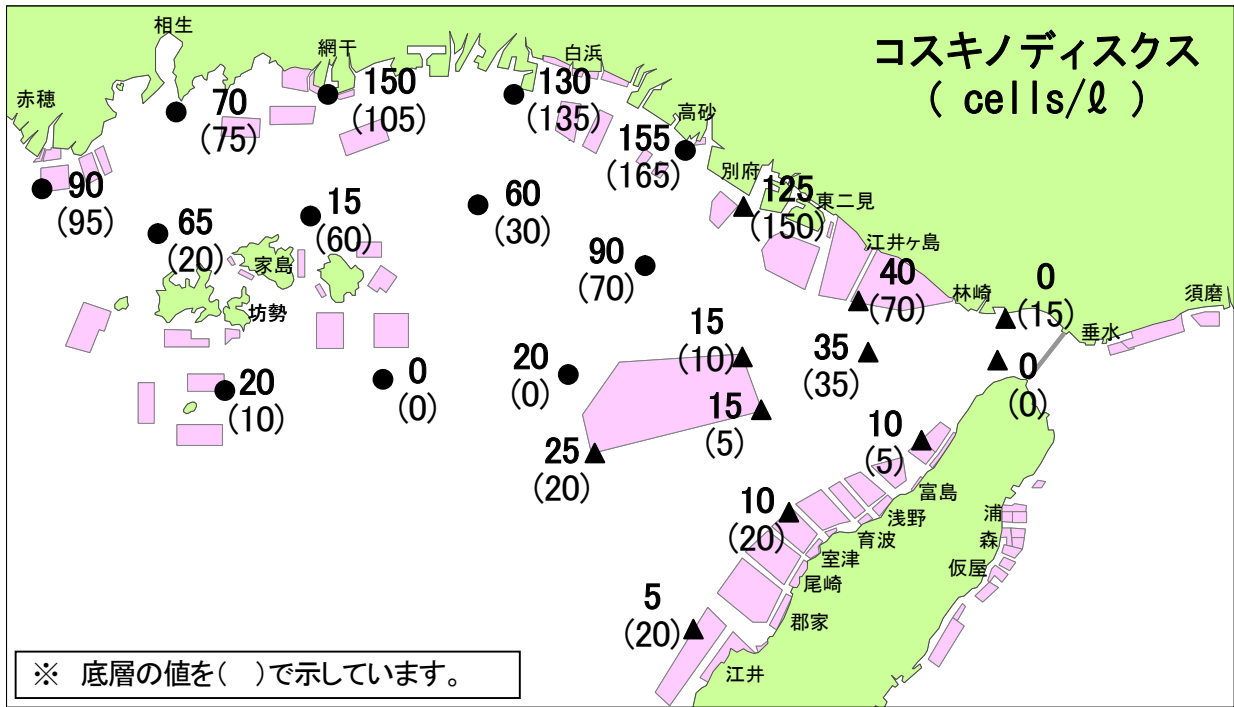
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、沖合域や東部海域で概ね4 μ mol/L以上、北西部沿岸域では1 μ mol/Lを下回っている海域があります。

大型珪藻のユーカンピアは、北部沿岸域(高砂~姫路地先)で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは北部全域で確認されています。

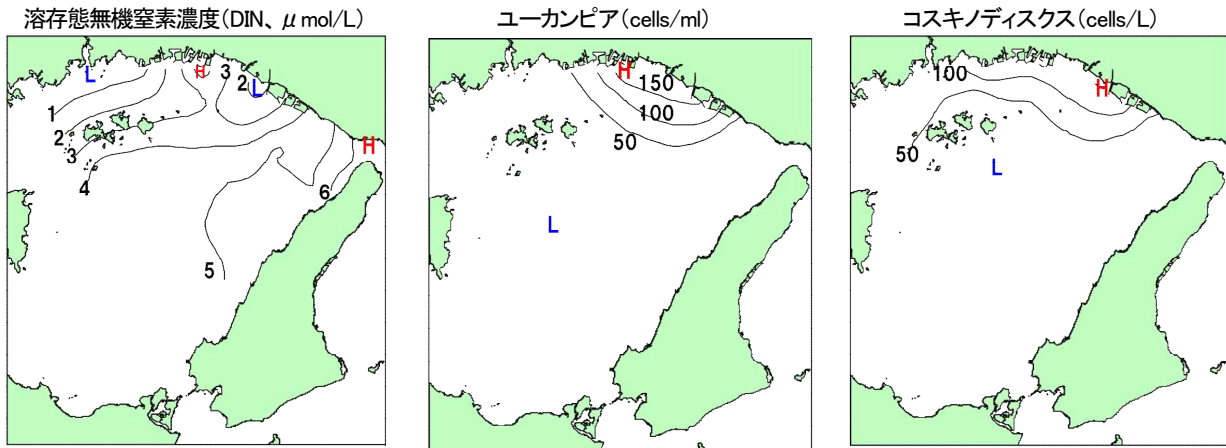
水温は、白浜以西では8.6~9.6 $^{\circ}$ C、家島諸島周辺では10.1~11.4 $^{\circ}$ C、江井ヶ島・高砂周辺で9.7~10.6 $^{\circ}$ C、明石海峡付近並びに西浦では11.2~12.0 $^{\circ}$ C、鹿ノ瀬周辺では11.0~11.2 $^{\circ}$ Cでした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年1月4日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸域では、前回の調査時よりも珪藻類の出現数は減少していますが、ユーカンピアゾディアクスの動向には、引き続きご注意ください。また、群体を形成する小型のキートセロスが確認されている海域があり、大量に発生すると栄養塩濃度の低下を招く恐れもありますのでご注意ください。コスキノディスクスワイレシーは、北部全域で確認されていますが、栄養塩濃度の動向に大きな影響を与える数ではありません。

家島諸島以北の播磨灘北西部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。沖合海域のDIN濃度は、概ね $4\mu\text{mol/L}$ 以上を維持しています。岡山県、香川県の観測結果から、季節風に伴って備讃瀬戸方面から貧栄養水塊が播磨灘に迫っていると考えられますので、今後の栄養塩濃度変化には十分ご注意ください。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並とされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁1月8日16時37分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(1/9~1/15)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雪または雨の降る日が多いでしょう。中部や南部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、明日(9日)は前線の影響で雨が降る見込みです。期間の終わりは高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

最高気温は、明後日(10日)にかけては平年並か平年より高く、その後は平年より低い見込みです。最低気温は、明後日(10日)にかけては平年並か平年より高く、その後は平年並か平年より低いでしょう。降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- 岡山県の調査(12/26)では、日生沿岸でDIN(表層)が $0.1\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $60\sim 130\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは $30\sim 100\text{cells/ml}$ 確認されました。
- 香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- 平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- 次回は平成30年1月16日頃に発行予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>